

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'13.6

ご挨拶 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にて、ご活躍の事と存じます。

本年の同窓会総会は、三十五期の皆様のご協力で、七月二十一日日曜日に母校の多目的ホールで開催する事になりました。新会員の皆様も、期末試験が終わり、夏休みに入ったばかりではありますが、お誘い合わせの上、参加頂きたく存じます。本年度予算案におきまして、文武両道をバックアップする為、クラブ活動援助金を十万円増額の五十万円と致しております。会員の皆様には、この主旨をご理解頂き、総会でのご承認をお願い致します。

二十四年度は、運動会、卒業式、入学式に出席させて頂きました。卒業式では、祝辞として、国内随一の自立した中学生に育った皆様は、高校、大学、社会人としても、しっかり自立した人間に成長してもらいたいという主旨の話をさせて頂きました。式後、渡辺校長より、竹早中学の教育は、「自由の中に、生徒の自主性を重んじ、自立した生徒を育てていく。さらに文武両道を、教職員一丸となって目指す」という力強い話を伺い、母校の将来については、歴史と伝統を継続し、さらに発展していくという期待が膨みました。

話は変わりますが、昨年末に新政権が発足し、経済再生、教育再生を強力に進めると表明しました。経済再生については、アベノミクスとして日夜報道されておりますが、教育再生については、報道量が少なく気になっておりました。

二月下旬に、そこが知りたい安倍政権の教育再生 下村博文氏

25年度 同窓会総会のお知らせ

○日 時／平成 25年 7月 21日(日)

午後1時半より受付開始

【第一部 総会】午後2時から午後2時半まで

【第二部 懇親会】午後2時半から午後4時まで

○会 場／竹早中・小1階 ランチルーム

○会 費／一 般 2,000円

大学生 1,000円

ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

○催し物／講演、リラクゼーションコーナーなど

○総会担当幹事 第35期(昭和59年卒)

○来年度担当幹事 第36期(昭和60年卒)

新会員・第64期(平成25年卒)、第35・36期のみなさま
お誘いあわせの上、是非ご出席ください。

ご出席・欠席を同封のはがきにて、
6月28日(金)までにご返信ください。

(文部科学相兼教育再生担当相)という記事を見つけました。その内容は、大学入試を抜本的に改革し、子供に自信を与えるという大きなテーマを教育再生実行会議で取りまとめ、法律改正が必要なものは中央教育審議会で改めて議論するというものがございます。最後に下村大臣にとって、「教育再生」とは何かという質問については、「自分をダメだと思う子供をゼロにして、自信を持てるようにする教育を目指したい。教育が自分の能力を開く可能性のあるものにする必要がある。出来るだけ早く実現できる教育改革をしていきたい」と発言されておりました。本教育改革が竹早の発展に繋がることを期待しております。

終わりになりますが、母校の益々の発展と会員の皆様のご健康を祈念し、今後ともさらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。挨拶とさせて頂きます。

プリーモ・レーヴィと

鈴木道彦さんを巡る旅から式辞へ

学校長 渡辺 雅之



はあり得ないという「民族責任」について考えていられることに深く共鳴し、自己と徹底的に向き合ってこられたのだなあと痛感しました。

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。この3月に無事第64期生を送り出すことができました。新しい仲間として歓迎していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年1月アルジェリアにて多くの人が殺害される事件が起き、その背景には何かがあるのか、きつと歴史的なものがあつたのではと調べ始めましたら、アルジェリア独立戦争と鈴木道彦さんが繋がつたのです。鈴木さんの1960年代について回顧録（「越境の時」集英社新書）を読んでいましたら、今度は我が母校の都立小松川高校で起きた殺人事件（1958年）に言及されているではありませんか。驚きましたねえ。マルセル・ブルーストのあの長〜い小説『失われた時を求めて』の翻訳者である鈴木さんがサルトルの著書を通じて自我の問題に答えを見出し、ヴェトナム戦争や金嬉老事件との関わりを日本人のだけれどが無縁で

そして、かつてテキストにしたことのある徐京植さんの「過ぎ去らない人々」（影書房）からプリーモ・レーヴィが脳裏に浮かんだのも、自分自身と向き合うことを考えていた時のことでした。アウシュヴィッツの抹殺収容所に送られた彼は、奇跡的に生き延び、戦後解放されました。やつとのことです自宅に帰りつき、「アウシュヴィッツは終わらない」（朝日選書）を執筆したのです。アウシュヴィッツという地獄から帰還した彼は何を考え、どのように自分と向き合い続けたのか、「休戦」（岩波文庫）からも示唆があります。

第64期生を送るに当たり、式辞のテーマは「自分と向き合うこと」になったのも必然かもしれません。鈴木道彦さんとプリーモ・レーヴィのお二人のことを話しながら、小職の頭の中もまた自身が「自分と向き合うこと」の意味や意義を考え続けることを自覚させられていたのでした。贈る言葉が自らにやや居心地悪く響きながら。同窓会の皆様のご多幸を祈念申し上げます。

追分と竹早の統合

三輪先生のお話から

副校長 荒井 正剛



お世話になったことで、先生には親近感を感じていました。

お話によると、立地場所や生徒数から、校名はいずれ竹早中学校になるであろうが、追分から移ってきた生徒が卒業するまでは、少数派である彼らが寂しい思いをしないよう配慮されたそうです。

一昨年、大学が各附属学校名の変遷を調査した際、竹早中学校と追分中学校の統合時の校名が問題になりました（奇しくもその年に私は生まれました。）調べてみると、校名について様々な意見が出てまともならず、統合一年後に正式に決めることになったようです。結局、東京学芸大学附属中学校となり、さらに五年後に附属竹早中学校と改称しました。しかし、後日たまたま見つけた統合した年のPTA会員名簿には、東京学芸大学附属竹早中学校となっていました。

当時の状況を、追分一期生からご指導された三輪先生に伺おうと、お宅を訪ねました。たいへんお元気で、当時のお話

が経つのを忘れてしまいました。けっこう厳しい先生であつたと聞いています。私は、化学準備室が社会科準備室の真向かいであつたことと、軯津先生時代の「彼女」に私が前任校でたいへん

写真や絵の前で中学校時代を思い出し、盛り上がりつついらつしゃいました。泰山木などの植物や塀などから当時を思い出してみませんか。どうぞお気軽にお訪ねください。卒業生のご息が多く入学されていることは、学校の誇りで、学校説明会でも自慢して話しています。皆様の期待に添うよう励みますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

新任・退任の先生挨拶

感謝の四半世紀

阿部 眞士



竹早中での勤務は、昭和63年から旧校舎で9年間、平成9年から新校舎で16年間、多くの個性豊かな先生方や多才な生徒達に囲まれて私の教員生活の大半を過ごし、美術教科として40期生から66期生まで授業とともに過ごせたこと、全てが財産であり喜びです。45期生と旧校舎でのどかに過ごし、49期生と旧校舎・改装教室・新校舎であわただしく過ごし、54期生と新校舎でのびやかに過ごし、52期生や世田谷中での59期生、そして美術部・アート部・イラスト部・IMO部となつかしい顔が浮かびます。四月からは淑徳大学教育学部子ども教育学科教授となりましたが、制作をライフワークにしています。卒業生の活躍に期待します。

仕事にも従事してきており、今までにメキシコ、パラグアイ、アルゼンチン、香港等の美大や教員養成大学、美術館、日本人学校等でも勤務してまいりました。

国際協力の現場経験を通して感じた事は、一見実現不可能に見えることでも「もしそれが世に必要なことであるならば実現できる」ということです。世にとって必要な事の実現のためには、それを待ち望む多くの人々の思いや様々な知恵、力、必要な資金までもが集まってきて、実現のための大きなパワーが生まれてきます。

生徒たちには、この世に必要な人として生を受けた事をしっかりと受け止め、自分の将来の夢や目標を「世にとつての必要」と結びつけることで実現させていってほしいと願っています。

新任挨拶

鈴木 淳子



今年度より東京学芸大学附属竹早中学校で勤務になりました。世話になりませんが、日本大学東北高等学校（福島県郡山市）からきました、保健体育科の鈴木淳子です。



山田 猛

このたび、東京を退職して竹早中学校にお世話になりましたことになりました美術科の山田猛です。

よろしくお願ひ申し上げます。東京都の公立中学校に勤務する傍ら、国際協力の

に、微力ではございますが、今までの経験を生かし、職務に精一杯取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

新任挨拶

渡邊 智紀



ご縁がありましてこの4月から竹早中に着任いたしました、渡邊智紀と申します。教科は社会科です。今年には私にとって、学大附属中と出会って（当時の大泉中で基礎実習をしてから）ちょうど10年目にあたるのですが、同じ学大附属中の教員になれたということ、とても嬉しい一方、大きな責任も感じています。

今年度は1学年の学級担任をさせていただきます。入学式では3年生の素晴らしい合唱に新入生ともども心を打たれました。これから私も竹中の教員として、自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒の育成に、また附属中学校の教員として、次代を担う教師の育成にも微力ながら努力して参るつもりです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成24年度同窓会総会報告

34期 幹事 木野内 毅一

平成24年度の総会・懇親会は34期生が幹事役を務めさせて頂きました。7月21日（土）に竹早小学校のランチルームで行われ、第2期生から第63期生までの卒業生及

び先生方、総勢100名以上が参加され、大変な盛会となりました。

「つながり」をテーマにし、記念品として出席者全員に校章入りのキーホルダーを進呈しました。懇親会は、34期生による児童書「うみ」の読み聞かせと副任職による講話、出席者の世代を超えた交流を図るためのイベント「名前ビンゴ」と豪華賞品の贈呈と続き、最後に参加者全員で校歌を歌って閉会となりました。

参加された方からは「いろいろな人と話せて本当に楽しかった」との声を多数頂き、企画・運営に携わった同期一同、責任を果たせてほっとしております。

幹事が毎年引き継がれるこの制度は大変素晴らしい、同期が集まる本場に良い機会ともなります。これからも同窓会が永遠に発展していくことを願ひ、昨年度の報告とさせて頂きます。

のひ間先生が先大生と交流。ビンゴ卒業生と名前ビンゴ交流。



携達に同世話を。運営に同行した。34期生が幹事役を務めさせて頂きました。7月21日（土）に竹早小学校のランチルームで行われ、第2期生から第63期生までの卒業生及

私たち(35期生)の「昨日・今日・明日」

竹中を卒業して30年。かつての紅顔の美少年・美少女たちも立派な？ 社会人になりました。そこで、同期の仲間たちに、①中学生時代の夢 ②現在の状況 ③これからの夢をテーマに一言を募集しました。順風満帆、波瀾万丈さまざまな人生の来し方行く末に興味を持ってお読みいただければ幸いです。

竹中時代からの「自分探しの旅」の答えがまさかここスペイン、バルセロナにあったなど思いもよらなかった。ポジティブ思考を学び、どんな時にも陽気でユーモアを忘れない人々と共に20余年が過ぎようとしている。昼は夫の眼科クリニックの検査スタッフとして、夕方からは現地の人に日本語を教える仕事が目課になり、大学生と中学生になった子供達に後押しされ3年前からコースを始めた。「君は生まれ変わったんだよ。」結婚当初、夫の言葉に戸惑った日々がなつかしい。「再生」を実感できる今、真っ青な空と穏やかなコバルトブルーの地中海に癒されながら私は旅を続けたいと思う。

三浦 由加里

- ①中学生の頃、絵描きになりたくて、図書館で「画家になるには」という本をかりた。
- ②水道橋の都立工芸高校でWEBデザインやら陶芸やらを教えている。
- ③引退したら、漆器やら陶器やらを、体力が続く限り作り続けたい。

森中 香奈子

- ①中学生の頃の私は、まだまだ幼くて具体的な将来の夢は無かったように思います。本や映画やテレビを通して様々な職業があることを

知っては、憧れを抱くことの繰り返しでした。②気がつけば専業主婦歴18年。そろそろベテランの域に達しているでしょうか。子供は中学生と高校生になりました。将来の夢を少しずつ描き始めた様子です。

- ③そんな私の将来の夢。それは、子供達が夢を持つことの出来る環境をつくり、出来る限り応援し続けることです。家族にとっていつまでも最強の応援団長でいたいと思っています。

並木(高橋) 由希子

- ①青かったけど、漠然と起業したいとは思っていたかな…。
- ②起業して18年目になる。やりがいとともに、今生じている種々の変革及び変化のスピード、不安定要因の多様化・重層化にトップマネジメントの困難さを痛感している。
- ③それでも94歳のリタイアまで、自ら心豊かに成熟するため、熱き魂で常に学び続け、成長と革新を継続し、第一線で社会貢献し続けた。

北川 忠幸

- ①中学時代の夢：考えていなかったですね。スポーツは好きで、バスケットをしました。観ることも好きで、サッカー・ラグビー・野球：

- 西武ライオンズのファンでした。
- ②母になり13年、2人の子供の成長が楽しみな生活をしています。
- ③野球で頑張っている長男・長女。目標を達成するために本人たちが努力をするなら、私は一杯の協力をしようと思っています。子供たちの目標達成が私の今の夢です。ちなみに：長男の目標は甲子園出場、そしてプロになることです。

市川(末広) 久美

- ①家は書道家だが継ぎたくない。夢は子どもに関わる仕事か、映画「インディー・ジョーンズ」と同じ研究がしたい。
- ②キリスト教系大学の史学科に入学するも谷中の僧侶が教授の東洋史研究室に。卒後は希望通り保育園勤務するも結婚で居宅介護支援事業所と接骨院経営。
- ③やっとな書道が少し好きになるお年頃に。今年、日本デザイン書道作家協会会員となる。夢は生涯、書道家。

大須賀 美智

- ①中学校でかか抜けた同級生がたくさんできて、夢を持つというより背伸びして現実に追いつこうとしていた気がします。ただバクゼんと「社会のためになることをしたい」と思っていました。この頃からサイクリングが趣味でした。
- ②大学卒業まで弁護士になるつもりでしたが、曲折を経て二〇〇七年にスポーツ自転車店を開業しました(東京・品川)。
- ③「ひとの役に立って喜んでもらうこと」が実感できる今の仕事を長く続けたいと思っています。

青山 宏康

- ①小学生の頃から推理小説とSF小説づけたため、最初にあこがれたのは探偵。中学時代はアインシュタインのような宇宙物理学者になるのが夢でした。

- ②出産退職以来、子育て一筋。夫の転勤にくっついて家族で新しい土地を転々とするうち、多少のことでは動じない凶太さを習得しました。
- ③ずっと「未知との遭遇」を続けていきたいものです。壮大な話ではなくても、わくわくする未知は身の回りにいくらかでもありますからね！

福家(鈴木) 玲子

- ①世界中の人と心から話し笑う地球語を作る(作文にも書いてました)
- ②フラワーデザイナー
- ③世界中に花と笑顔を届ける

秋山(小島) 月世

- ①夢は大空をかけるパイロット！と言いたかった。だが、残念ながら夢と呼べるものはない日々であった。
- ②まったくの偶然で今現在国際線パイロットの機長となり、世界中を飛び回っている。地に足がついていないのは中学時代と変わらないうい？
- ③これからも、安全運航第一。人との出会い一期一会を大切にしていきたい。

中井 創介

- ①厨二病的な幻想に基づく「ミュージシャンで税理士」
- ②現実と折衝をつけた「ミュージシャンで税理士」
- ③生涯現役を体現するような「ミュージシャンで税理士」

坂下 朋之

- ①強きをくじき弱きを助ける、正義の味方
- ②見る人がわくわくするような立体造形を追い求めて作家活動しながら、時々社会人
- ③しあわせになる元気食卓アドバイザー。(中医学を勉強中)

清水 佐和子

①まだ幼い頃に百人一首で遊んでいて歴史が好きになり、中学校の授業を1つのきっかけとして歴史や社会について考えるようになりました。

②思いがけない縁があつて出身高校で毎日歴史の話をして過ごしています。

③私が教えていただいたことをそのまま高校生に教えたいわけではありませんが、私の先生方が私に対してそうしてくださったように、高校生の歴史や社会に対する興味・関心を触発できる教員になりたいとは思っています。

安井 崇

①医師になつて病気で困っている人を助けたかった。

②地方都市で外科医をしている。深夜に呼び出されたりすると正直きついと思う時もあるがふと見上げたきれいな空に輝くたくさんの星をみると頑張ろうと思う。

③いままで約20年仕事をしてきてあと20年するともう引退の時期だ。今は仕事をしなくなった時の自分が想像できないがせめて妻を「夫原病」にしないようにと思っている。きつくても自分がやりたかった仕事をしている。そういう意味では幸せだと思ふ。

平野 謙一郎

中学生の時の夢は、はつきり覚えていないが多分、野球選手か何かのスポーツ選手になりたいという、夢だったような気がする。現在は父の仕事を継いで歯科医師をしているが、4年前から趣味でトライアスロンを始め海外遠征も含め、年に何レースかに参戦している。昨年からはその中でもロングのレース Ironman に参戦し、トレーニングはキツイながらもゴールした時の達成感が忘れられず、将来的にもライフワーク的に楽しんでいきたいと思つている。

久保 耕一

①外国航路の船医、科学者（漠然と。お茶の水博士のイメージ?）。

②人類学者、大学教員。20年ほどアフリカ、ニューギニアなどの伝統社会で調査をしています。中学時代の夢が（形を変えてはいますが）かなっているのかな?

③最近は大大学院生をフィールドに連れて行くだけで後ろ髪を引かれる思いで帰国しています。1ヶ月でいいからフィールドで過ごしたいと夢想中。多くの若者に異文化フィールドワークの楽しさを伝えたいです。

山内 太郎

①通訳になつて人と人を繋ぐ仕事をしたかったです。どんなに異なる思想の人達でも心通わす事ができるスーパースト通訳になりたいと思つていました。

②主婦で男の子二人の母親です。主婦業の傍らで英会話教えています。若い頃に通訳も少ししましたが、しどろもどろ通訳で全く向いていませんでした。

③絵の勉強をして、世界中旅して絵を描きたいです。異なる場所に共通してあるいいものを見て、描いて、伝えられるようになります。

古谷（橋本）美紀子

①具体的な将来のヴィジョンは描けていませんでしたが、中学に入学して大好きな友人が増え、視界がぱあつと開けていくような感じがしてワクワクしたのを覚えています。

②よいことも悪いこともなるほど糾える縄の如く巡ってきますが、12歳で知りあった友人と今だ腹を割って語り、エールを送り合っていることは、何事にも代えがたい幸運だと感じます。

③というわけでこの先も末永くお付きあいいただき、一緒に歳を重ねていきたいです。

定池（岡村）優里

①詩や短歌、小説や脚本。言葉をつむぐことがただ楽しくてしかたなかった頃。高校の文化祭で、古事記を題材に書いた脚本を素敵なお舞台にもらったことも大切な思い出。文章

で何かを創りだす仕事へのあこがれを抱いていた。

②大人になつて、書く喜びはいつのまにか引き出しの奥に。けれど最近では、歴史好きな家族との旅や心惹かれる本との出会いの中で、あの頃の想いが呼びさまされる気がしている。

③おばさんでも、おばあさんになつても、文学少女のときめきを心に持ち続け、古代が舞台の恋愛物語をいつか書きあげることがを夢みて…。

吉田（佐藤）友香

実は、中学生の時代のことというのが、一番思い出すことが難しい時期と言えます。それまで子供心に思い描いていたことから一歩大人になりつつ、まだ大人として実現していくべき「夢」のようなものにはなりきれない時代というか…。いまは10年勤めた鉄道会社も辞め、フリーランスのアナウンサー（喋り手）としてやらせてもらっていますが、そんな自由な生き方の素地が、もしかしらその過渡期のような中学生時代に、培われたのかも知れません。これからも、そんな心持ちを大切に、出来ることを精一杯に生きて行けたらと思つています。

坂田 博昭

①コンピュータの可能性（記憶力と計算力の弱さを機械が補ってくれる未来）をひたすら信じていた（今考えるとほぼ予想どおり）。

②母校（香川大学医学部）で医療と情報の学際分野である医療情報の研究をしている（医療と情報の「合わせ一本」だったので、臨床で一本勝ちしている医者にちよつと羨望）。

③世界中の医療の情報を統合し、飛躍的な医学の進歩を目指している（が、国際規格の策定はとてもハードなので、本当は早く引退して学生時代の夢だった人工知能の研究をした）。

横井 英人

①早く「お母さん」になりたいと思つていました。

②弁護士を経て、三児の母となり、5年前から、宮崎で農家として野菜を作っています。人も気候もあたたかい宮崎は、居心地がよいだけでなく、里山暮らしには目から鱗が落ちるような発見が満ちていて、とても刺激的でもあります。

③里山での暮らしの中で、次の、そのまた次の世代に引き継いでゆける社会のあり方を模索し続けたいと考えています。

川上（高野）ゆり子

①暇さえあれば、本を読んでいた気がします。（漫画を含む。）あわよくば売れっ子作家になつてことも夢見ていたかも。

②某私立の女子中高で、国語科の教員をしながら、文芸部というクラブの顧問をしたりします。（かつての夢を生徒にとは、爪の先ほど考えてはいません。）

③定年後は、晴耕雨読が夢です。

加藤 秀行



15歳の頃

2012年度7期生同期会開催

竹早7期生の同期会が平成24年11月10日(土)正午、銀座、サンミ高松本店で開催された。

幹事は廣田 元、小林 彰、荒井邦壽、齋藤(天賀谷)優子、徳田(谷古宇)生江 出席者 31名

会は、廣田幹事の辞のあと、最近亡くなった同期生に黙とうを捧げた。荒井乾杯のあと、毎年開催している会の常連組の親しい会話、50年ぶりで再会を果たした者同士の高笑い等、旧交をあたためた。今年、わが同期は6回目の年男、年女でもあり、新しい趣向として、プレゼント交換会を実施した。包み紙の中身を披露する者のうれしそうなお声も聞こえ、小林君(大手商社マン)としてアフリカのマダガスカルとアルジェリアで20年勤務)のユーモアあふれる語りには「同大爆笑をした」。

2001年に誕生した創竹会の初代会長「二瓶好正君、現会長子安龍太郎君のよき指導のもと、同期の絆を深めた最良の一日であった。ほとんどの者が2次会に参加、5時に散会した。次回は、平成25年11月9日(土)於銀座 サンミ高松本店の予定。

次回幹事は、小沢 宏君、西田幾久夫君、茂垣(西江)祥子さん、徳田(谷古宇)生江さん。

荒井邦壽 記



竹早中学校昭和31年(1956年)卒業生同期会

2012年(平成24年)11月10日 於・銀座 サンミ高松本店

幹事 廣田、小林(彰)、荒井、天賀谷、谷古宇 (敬称略)
出席者 31人 (在学時の名前で表示)

昭和50年卒同窓会 50歳の君たちへ

平成24年9月17日に竹早中学校昭和50年卒の同窓会が行われました。この年に、ちょうど同窓生が50歳を迎えるということで開催となりました。

そして、今回は学校で当時の先生方に「50歳の君たちへ」という題で授業をしていただくことになりました。

残念ながら校舎は変わってしまいましたが、現在使われている教室に74名もの元生徒が、昔通り男女市松模様様に座り授業を待ちます。

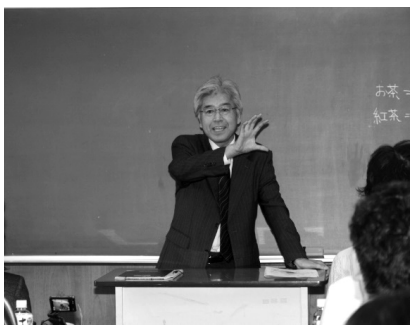
キンコンカンコンコンという昔と変わらぬ懐かしいチャイムで同窓会が始まりました。

今回、三輪先生、西原口先生の出席はかないませんでした。新海先生、池田先生、山村先生の出席をいただきました。

初めに、前年二月に逝去された鈴木栄二先生と、すでに他界してしまっただけで黙祷が捧げられました。

そして、当時3年A組の担任だった新海先生の授業から始まりました。先生が教壇に立たれると自然と起立礼が行われました。(事前に打ち合わせせしめたが、現在も号令はないとのこと)

出席簿を用意しておき、先生に出席を取っていただきました。一人一人名前を呼ばれ、出席者は元気よく「返事をしていきます。欠席者、他界された元生徒もすべて名前を呼んでいただき、みんな改めてクラスメートを思い出しました。



例の調子(といっても35年ぶりですが)の楽しい授業も、予定通り予定時間をオーバーして新海先生の授業は終わり、次はB組池田先生の番です。

先生はプリントを用意されていました。そのプリントを昔のように前から後ろへと配っていきます。そして、そのプリントはロミオとジュリエットの二文で、なんでも池田先生の最後の授業は必ずこの教材を使うことにしていたのですが、我々の代はなぜかそれができず、先生としても心残りだったとのことです。

そして音楽室に移動、と言いたところですが、ピアノのある部屋に移動しました。

三時間目はC組山村先生で、授業は校歌斉唱です。例によって発声練習してからの斉唱となりました。歌詞カードを用意していたので歌詞はわかりましたが、あまりに懐かしく声を少し詰まらせていた元生徒もいました。

最後に三輪先生、西原口先生の「50歳の君たちへ」のメッセージを朗読し第一部はお開きとなりました。

その後、場所を東京ドームシティのレストランでアルコールを交えての懇親会となりました。50歳というところで大きなバースデーケーキも用意され、終始和やかな会もお開きになりました。

我々の代に、現在竹早中学校で教師をしている森さんがいることで実現した学校の授業ですが、皆あの懐かしいときに「瞬でも戻れたのではないかと思います。

41期 復刻授業

—23年分楽しませて頂きました—

2012年7月21日、同窓会総会終了後、41期数名が若荷谷の居酒屋に集合しました。「50歳になる君たちへ」の先輩方の復刻授業の話題になり、その場で同期会として復刻授業の実行委員会が立ちあがりしました。実行委員会といってもフェイスブック(FB)上で「竹早中学校41期同期の部屋」なるグループを作成し、その上で実現に向けて進めてきました。FB上で決めたことは、

①復刻授業は、新海先生と林先生にお願いすること。

②社会の第1線で活躍している同期が一同に会するのであれば、年末12月30日が最良であること。

でありました。

同期会当日、51名(男子13名、女子38名)の同期、岩瀬先生、現竹早小学校校長・山田先生が現竹早中学校校舎3年A組に集まりました。時限目は林先生の授業、全てオールドファッションにて、お弁当箱と呼ばれるテーブルコーナーから三つの英語の文章、そして林先生の虎の巻ならぬ温まる言葉を紹介していただきました。新海先生からは、論語の為政編について、ご定年後の生活について、そして「真実の目」についてお話しいただきました。その後、佐々木先生に駆けつけていただき、小石川のレストラン・蒼いナポリに移動し懇親を深めました。

「参加できなかった同期にも楽しんでほしい」これが同期会のテーマでありました。復刻授業の様子は「youtube」にアップをし、今でも世界中の同期に閲覧していただいております。



平成 25 年度 予算案

(自平成25年 4月 1日
至平成26年 3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	11,251,097	III 本年度支出	3,100,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,300,000
普通預金	1,549,364	総会・懇親会開催費	500,000
郵便貯金	6,542,853	常務理事会費	40,000
小口現金	158,880	総務費	50,000
		文書事務費	80,000
		郵便連絡費	100,000
		慶弔費	90,000
II 本年度収入	3,062,000	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	500,000
新入会員会費	1,650,000	名簿入力・追録費	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	ホームページ作成・維持費	200,000
維持会費	800,000		
総会・懇親会会費	100,000	差引残高	11,213,097
預金利息	2,000	IV 次年度繰越	11,213,097
名簿売上	10,000	【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,000,000
		郵便貯金	6,000,000
		小口現金	213,097
合 計	14,313,097	合 計	14,313,097

注：(1)送料を含む

平成 24 年度 会計報告

(自平成24年 4月 1日
至平成25年 3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	9,969,966	III 本年度支出	2,589,954
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,160,122
普通預金	23,301	総会・懇親会開催費	445,904
郵便貯金	6,519,622	常務理事会費	21,896
小口現金	427,043	総務費	40,000
		文書事務費	18,977
		郵便連絡費	105,570
		慶弔費	30,000
II 本年度収入	3,871,085	卒業記念品代	138,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	400,000
新入会員会費	1,580,000	名簿入力・追録費	62,272
同窓会活動支援寄付金	708,600	ホームページ作成・維持費	167,213
維持会費	1,108,000		
総会・懇親会会費	162,000	差引残高	11,251,097
預金利息	1,985	IV 次年度繰越	11,251,097
名簿売上	310,500	【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,549,364
		郵便貯金	6,542,853
		小口現金	158,880
合 計	13,841,051	合 計	13,841,051

注：(1)送料を含む

創竹会からのご挨拶



創竹会会長
子安 龍太郎

同窓会会員の皆様には平素より竹早中学校教育後援会、創竹会の活動にご理解とご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。今春は、4月10日の入学式には花を添えるべき桜が早咲きし、播磨坂の並木は既に青葉になっていよう、異常な天候が続いておりますが、同窓会会員の皆様にはご健勝にご活躍のことと存じます。

入学式の来賓席で、新入生から三年生まで、学年ごとにとままとった生徒たちを比較しながら見ておきますと、三年間の成長がいかに早いものかが歴然として、それだけにこの時期の教育の重大さを実感させられます。

創竹会は国立大学の法人化に伴い、付属中学校への国からの予算が減少する中で、教育環境を維持してゆく為の仕組みとして2001年1月に発足し、はや12年目を迎えております。

正会員、賛助会員の皆様から頂いた平成24年度の予算では2千4百万円の会費・寄付金を母校に提供し、教育環境の維持・向上に貢献しております。

特に今年度は、電子黒板の導入や、老朽化したロッカーの更新なども、限られ

た財源の中から実施いたしました。

附属中学校に相しい教育環境を維持していくためには、財政面の充実が欠かせませんが、国からの予算は年間4百万円強にとどまっております、今後は、肥大化する社会保障費や、震災復旧などの為更に先細りすることが予想されます。

創竹会の役割は、一層重要性を増すものとなりますので、同窓会の皆様にはこれまで以上のご理解と財政面でのご支援を心よりお願い申し上げます。

学校よりお願い(募集依頼)
コンピュータ室における
検索指導者の募集

日時：七月十日、九月四日(水曜日)

午後二時～三時

内容：中学三年生の卒業研究における

インターネット検索指導等

*経験不問、交通費実費を含めて薄謝ですが、お支払い致します。

*問い合わせ・連絡先：荒井副校長

電話：03(3816)8601(代)



平成24年度同窓会活動報告

4月12日 入学式出席

古谷会長・田中顧問出席(お祝い金 1万円)

4月14日 第1回理事会 名簿について

フレッシュアップについて

6月1日 先生方との懇親会 ホテルエドモント フォーグレイン

ドモント フォーグレイン

6月9日 第2回理事会

総会準備に向けて

7月21日 同窓会総会

クラブ活動援助金贈呈

10月20日 第3回理事会

12月8日 第4回理事会 クラブ活動援助金金額について

3年生保護者会

(同窓会入会の関する説明)

白石理事)

2月1日 新年会 銀座キムラヤ総本家

3月13日 卒業式予行出席

記念品贈呈(校章入りマグカップ・名簿 小菅理事)

3月14日 卒業式出席

古谷会長・田中顧問出席

同窓会常務理事会名簿

顧問 田中 元次(2期竹)

二瓶 好正(7期)

監事 高柳 良夫(3期竹)

会長 古谷顯史郎(13期)

副会長 三嶋 明(13期)

総務部 松岡 隆司(14期)

高畠 正子(7期)

白江 千治(26期)

事務部 高柳 良夫(3期竹)

三嶋 明(13期)

田中 充(29期)

広報部 小菅 昭彦(27期)

田上 睦美(33期)

木野内毅一(34期)

野島 雅(41期)

名簿部 花見喜久子(13期)

白石 英行(31期)

関根あすか(36期)

会計部 正野 敬子(19期)

永井真知子(19期)

石黒由香里(26期)

常務理事 選出のお願い

同窓会理事会は、常務理事の募集をしております。様々な年代の方々が種々の部会で活躍しております。また、活動を通じて学校側とのコミュニケーションの機会もあり、現在の学校の実状をうかがい知ることができま。

『故郷は同心町(小石川4丁目)』という共通の思いを持っている様々な年代、様々なキャリアの持ち主の方との語らいは、刺激的で、且つ興味深く、なお安心です。

皆さまのご参加を、いつでもお待ちしております。

母校PTA

文化厚生部からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを、今年度は左記の要領で行います。ぜひご協力ください。

○現行の制服(男女とも)、Yシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、ベストなど。

○運動会(9月28日)、文研(11月8・9日)

当日に受け付けます。運動会ではグラウン

ドへの階段下に回収箱を設置します。

○竹早中学校事務室あての郵送・宅配でも常時受け付けいたします。

維持会費・同窓会支援 寄付金ご協力をお願いします

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる(同窓会会則22条)。24年度の収入は約387万円、支出は約259万円でした(平成24年度会計報告参照)。収入内訳は、入会金約158万円、維持会費約111万円、同窓会支援寄付金約71万円、その他約47万円でした。

維持会費は毎年2,000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく(毎年払込みください)。

編集後記

本年より本誌フレッシュアップの編集担当をさせていただいております。竹早中学校在学当時は、アイドルの南野陽子さんや俳優の高橋良明さんのラジオを聴きながら勉強をしていたのを覚えております。フジモリパンの食感も、校舎裏に茂っていた草の匂いも、古い校舎の軋む床の音も鮮明に思い出すことができま

す。同窓会の仕事を手伝わさせていただきました。同窓会に思うのは「そもそも記憶とは何なのか?」であります。ミルトンエリクソン著「あなたは7年ごとに生まれ変わる」にあります。人間は霊的にも物質的にも7年間で入れ替わるそうです。それに従うと中学校の頃、我々を構成していた元素は既に太平洋に注がれている筈です。そして、今我々を構成している体は当時と異なる元素から成り立つこととなります。物性が元素配列から発現する立場から考えると、あり得ない矛盾に行き着くのです。物質を超えたところにある不思議に感服せざるを得ません。そして、この会誌を通じて同窓生の皆様・先生方に再びお逢いしたこの不思議に感謝いたします。(野島)

同窓会ホームページをご利用ください。

<http://www.takahaya-jhs-dousoukai.net/>